

- 「協働のまちづくり元年」市長の施政方針演述
- 消防、防災体制の重要性と自主防災組織の必要性を問う(一般質問・予算審査等)
- 「東北地方太平洋沖地震の災害対策を求める意見書」を国へ提出

億円を可決

(対前年度比6.1%増)



奥州市子育て総合支援センター「こころ」待望のオープン(水沢区)

予算審査特別委員会が行われていた3月11日午後2時46分に三陸沖を震源とする巨大地震が発生しました。6階にある議場では今までにない大きな揺れを感じ、予算審査特別委員会は直ちに休会しました。再開されるまでの5日間、議員による被害状況調査等が行われました。最終日には奥州市議会として「東北地方太平洋沖地震の災害対策を求める意見書」が可決され国に提出しました。

- 主な事業は次の通りです。
- 地域づくり推進事業
- 介護施設等整備事業

一般会計当初予算は、本格的な景気回復の足取りは鈍く、市税等財源の確保が厳しい中、歳入については「地域主権改革」に伴い、地方交付税は増額が見込まれるものの、市税は減収を見込んでおり、一般財源総額は、対前年度比6.1%増の54.9億円となりました。歳出は、市債の償還が減少傾向にあります。扶助費や特別会計、公営企業会計への繰り出し金が増加している中で、経常経費の縮減、抑制に努める予算編成とされています。

当初予算について

3月定例会のあらまし

平成23年第1回定例会は、2月25日から3月23日まで開催され、常任委員会に請願1件が付託され、審査が行なわれました。市長並びに教育委員長の施政方針に対する質問は、2月28日に、一般質問は3月1日から3月7日まで行なわれ、計19名の議員が登壇し、市長、教育委員長の考えを質しました。追加議案を含め条例制定3件、一部改正10件、条例の廃止2件、江刺ターミナルプラザ等、指定管理者の指定15議案、平成22年度補正予算13件、教育委員会の委員の任命1件が審議されました。平成23年度予算については、一般会計に9項目、総合水沢病院事業会計に1項目の意見を付して可決されました。*会期中に発生した、東北地方太平洋沖地震の災害対策を求める意見書を国に提出しました。

条例の制定

- 特別会計繰出金(介護保険特別会計・下水道事業特別会計など)
- 真城小学校校舎改築事業
- 岩谷堂小学校校舎改築事業
- 前沢統合小学校新築事業

*奥州市協働の

まちづくり基金条例

市民参画と協働による地域課題の解決を推進し、地域の一体感を醸成するため、基金を設置しようとするものです。

*水沢大町多目的広場条例

商店街の活性化及び産業の振興、並びに市民の利便性を図るため、水沢大町多目的広場を設置しようとするものです。

*奥州市子育て総合支援センター条例

子育てしやすい環境づくりを推進するため、奥州市子育て総合支援センターを設置しようとするものです。

条例の一部改正

*奥州市職員の育児休業等に関する条例の一部改正については、法改正に伴う、非常勤職員の育児休業に係る規定を追加するために改正するものです。

*奥州市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正については、国家公務員の例により、時間外勤務手当の計算方法を改定するために改正するものです。

*奥州市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正については、医療施設ごとに異なっていた特殊勤務手当を統一することに伴い改正するものです。

補正予算

質問 小学生の医療費助成について、昨年10月から小学1年生から6年生まで対象となっていますが、その対象者数について伺います。

答弁

医療費の自己負担の2分の